

鳥取県の取組みダイジェスト版



障がい福祉施策の目標

【目標】

障がい者が、地域の一員として地域で自立し安心して暮らすことができる社会（鳥取県）の実現

【主な項目】

障がい者に対する理解の促進

地域における生活場所の確保

障がい特性に応じた障がい福祉サービスの提供

情報アクセス・コミュニケーション支援

就労継続支援事業所における利用者の工賃の向上・一般企業等への就労支援

スポーツ活動・芸術文化活動に対する支援

国・県・市町村・関係団体が、それぞれの役割に基づき連携しながら取り組むことが必要。

鳥取発の「あいサポート運動」を全国に発信


『障がいを知り、共に生きる』～共生社会実現の願いをバッジに込めて発信～

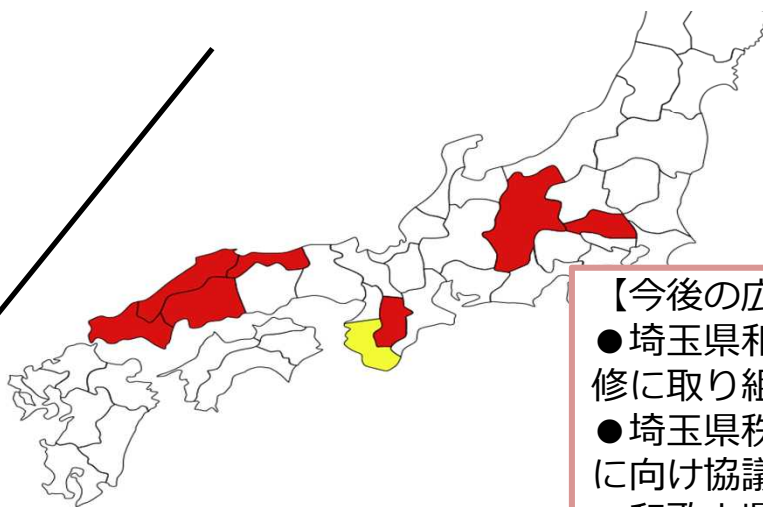
国内外に広がる「あいサポート運動」

あいサポーター **25.7万人** (H27.6末)



【初の海外進出】
韓国 江原道
連携協定締結
(H26.10.4)

 あいサポート運動
連携協定締結



【初の関東圏進出】

埼玉県
(富士見市・三芳町)
(H26.10.16)

【今後の広がり】

- 埼玉県和光市では、既にあいサポーター研修に取り組んでいる。
- 埼玉県秩父市等において、秋頃の協定締結に向け協議中。
- 和歌山県が、今年度に入り参加の意向を示す。協定締結は今後協議。

あいサポート運動とは

多様な障がいの特性、障がいのある方が困っていること、障がいのある方への必要な配慮などを理解して、障がいのある方に対してちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）をみなさんと一緒につくっていく運動

「あいサポート大使」による発信!

美容福祉の第一人者 山野愛子ジェーン さん

⇒美容師を育成する学校で「あいサポート運動」を活用した障がい理解の普及を図っていただく

人気モデル・タレント 押切もえ さん

⇒アート活動を通じた障がい者との交流やファッションなどを通して「あいサポート運動」の活動を広めていただく

あいサポート運動の取組と広がり

『障がいを知り、共に生きる』～共生社会実現の願いをバッジに込めて発信～



あいサポート運動ステップアップ推進事業

【新規】6,912千円

あいサポート運動のさらなる推進・拡大及び障がい者への合理的配慮についての理解を深めるため、合理的配慮事例をわかりやすく紹介するDVD、小冊子等を制作し、共生社会の実現を目指す。

【初の海外進出】(H26.10.4)
韓国江原道と連携協定締結



長野県(H25.7.1)

【初の関東圏進出】



埼玉県(富士見市・三芳町)
(H26.10.16)

鳥取県(H21.11)



島根県(H23.3.14)



山口県(H27.8.9)

あいサポート運動
連携協定締結



広島県(H23.12.11)



奈良県(H25.8.6)

(平成27年8月末現在)

あいサポーター数:260,677人
あいサポート企業・団体認定数:919企
業・団体
あいサポーター研修実施回数:2,593回

※鳥取県、島根県、広島県、長野県、奈良県、埼玉県富士見市及び同県三芳町並びに山口県の合計です。 4

手話の聖地!鳥取県

全国初!

手話言語条例の制定 <H25.10>

全国的な課題

- ・ 地域で手話が普及しない現状
- ・ ろう者の皆さんの長年の悲願

“手話を言語と認めて欲しい”

条例制定、具体的取組のスタート

手話を言語と認め、地域で手話の普及を進める「手話言語条例」を制定し、すぐに具体的な取組をスタート。

- ・ 教育現場での手話の普及を推進!
- ・ ミニ手話講座の開催、手話学習会補助金制度の創設等により、**地域での手話の普及を推進!**
- ・ **遠隔手話通訳サービス、電話リレーサービス等の新しい取組にも挑戦!**

全国への波及

- ◆ 同様の条例は、神奈川県、群馬県、北海道石狩市等、鳥取県を含む**18自治体で制定**され、現在も他自治体において条例制定に向けた動きがある。
- ◆ 国に「手話言語法」の制定を求める意見書は、**全ての都道府県議会、1,727市区町村議会**で採択されている。

ろう者と聞こえる人が
“共に生きていく社会”を目指して

第2回全国高校生手話パフォーマンス甲子園

9月22日(火・祝)、米子市公会堂で開催!

優勝



奈良県立ろう学校

全国の高校生が、手話を使ったダンス、歌、演劇などを繰り広げ、優勝を目指して競い合います。

鳥取県手話施策推進計画の概要(H27年3月策定)

1 目的 継続的に手話施策を推進するため、多様な取組の基本方針を定めること

(鳥取県手話言語条例第8条第1項)

2 計画期間 平成27年度から35年度まで(9年間)

手話の普及、ろう者に対する理解促進

[基本的な考え方]

- 手話表現を覚えるだけでなく、ろう者の生活・文化等を知り、ろう者と聞こえる人が交流して互いの理解を深め、学びあうことを大切にして推進

地域、職場等における手話の普及

- 手話学習の推進+普及啓発

教育における手話の普及

- 聞こえる子どもとろう児・者との交流、学習教材・支援員派遣制度等の活用

行政、公共交通機関等における手話の普及・情報発信

手話を使いやすい環境整備

[基本的な考え方]

- ろう者の文化を尊重し、生活・ニーズを踏まえ、ろう者と聞こえる人がコミュニケーションしやすい環境づくりを推進

手話通訳者の養成、派遣事業の充実

- 手話通訳者・通訳者の指導者の養成は喫緊の課題

聴覚障がい者相談事業の充実

鳥取聾学校等における手話による教育の推進

新しい手話コミュニケーション環境の創出

- ICTを活用した手話コミュニケーション

ろう者が働きやすい環境づくり

とっとりの手話(地域手話)の文化的発展

ろう者と聞こえる人が互いの個性・人格を尊重する共生社会の実現

第2回全国高校生手話パフォーマンス甲子園

- 全国初の手話を使ったパフォーマンスコンテストの第2回大会を、手話言語条例を創った鳥取県で開催しました。
- 全国の高校生が、手話を使ったダンス、歌、演劇、落語などを繰り広げ、優勝を目指して競い合いました！

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION



第2回 大会

平成27年9月22日(火・休)、米子市公会堂(鳥取県米子市)

全国から応募があった47チームが熱戦を繰り広げ、交流を深めた。
会場には約1,550名が来場し、出場者・客席が一体となって盛り上がった。

- 優勝 奈良県立ろう学校(奈良県)
- 準優勝 三重高等学校・松阪工業高等学校・相可(おうか)高等学校(三重県)※3校合同チーム
- 第3位 クラーク記念国際高等学校 東京キャンパス(東京都)
- 審査員特別賞 田鶴浜(たつるはま)高等学校(石川県)
- 全日本ろうあ連盟賞 奈良県立ろう学校(奈良県)
- 日本財団賞 奈良県立ろう学校(奈良県)、鳥取聾学校(鳥取県)



大会の前日には、出場チームと関係者による交流会を開催しました。
(約250名参加)

- ・9月21日(月・祝)
- ・米子全日空ホテル

「手話は言語」を鳥取から発信!



平成27年9月22日に開催した第2回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開会式において、佳子内親王殿下が、**約3分間にわたり手話で挨拶をされました。**

佳子さまが公式の場で手話を用いて挨拶をされるのは初めてです。



前日の交流会でのご懇談のご様子

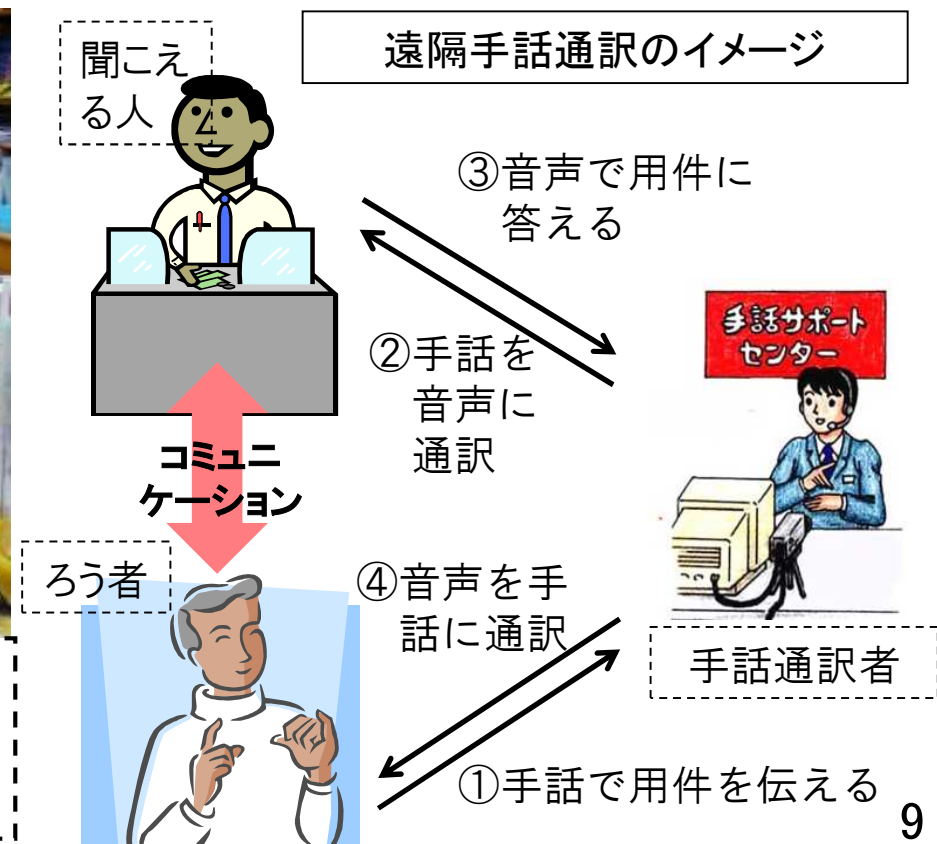
平成27年9月23日 日本海新聞(地方紙)

ICTを活用した遠隔手話通訳サービス

＜遠隔手話通訳サービスとは＞

平成27年度当初予算 12,737千円

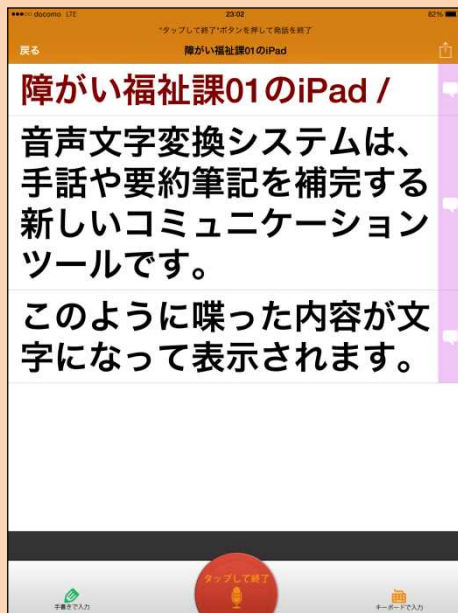
- タブレット型端末のテレビ電話機能を通じて手話通訳者が画面越しにろう者と聞こえる人との手話通訳を行い、ろう者と聞こえる人がコミュニケーションをとるための仕組み。
- 短時間の用事や急に必要に迫られた場面など、手話通訳者の派遣を頼みにくい場面で便利に利用できます。
- 平成27年度～、手話通訳者がろう者に代わって電話をかける「電話リレーサービス(代理電話)」も開始しました。



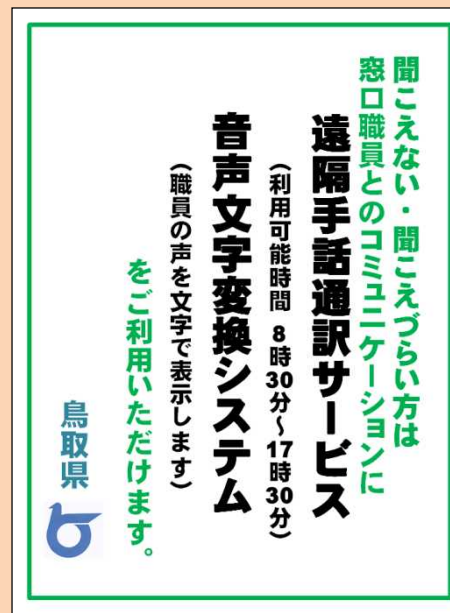
- 県内23名のろう者をモニターとしてモデル的に実施
- JR鳥取駅、倉吉駅、米子駅、鳥取バスターミナル、倉吉バスプラザ、米子バスターミナル、県立図書館、県庁総合受付、障がい福祉課にもタブレット型端末を配置

聴覚障がい者向け音声文字変換システムの導入

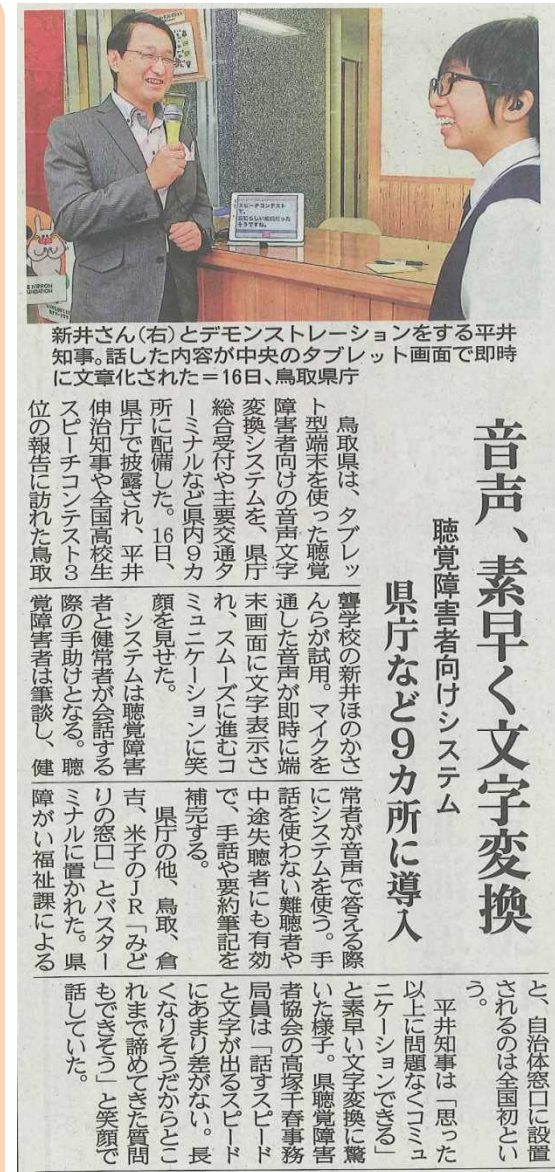
- 聴覚障がい者と聞こえる人がコミュニケーションを行うとき、聞こえる人の声を文字に変換してタブレット型端末の画面に表示する**音声文字変換システムを全国で初めて自治体窓口**に導入しました。
- 県庁総合受付の他に**JR主要駅・バスターミナル**など、**遠隔手話通訳サービスと同じ9箇所**の窓口にタブレット型端末を設置しており、ろう者だけでなく、手話を使わない**難聴者・中途失聴者**も**便利に利用**できます。



[音声文字変換システムの画面]



[窓口に掲示している案内表示]



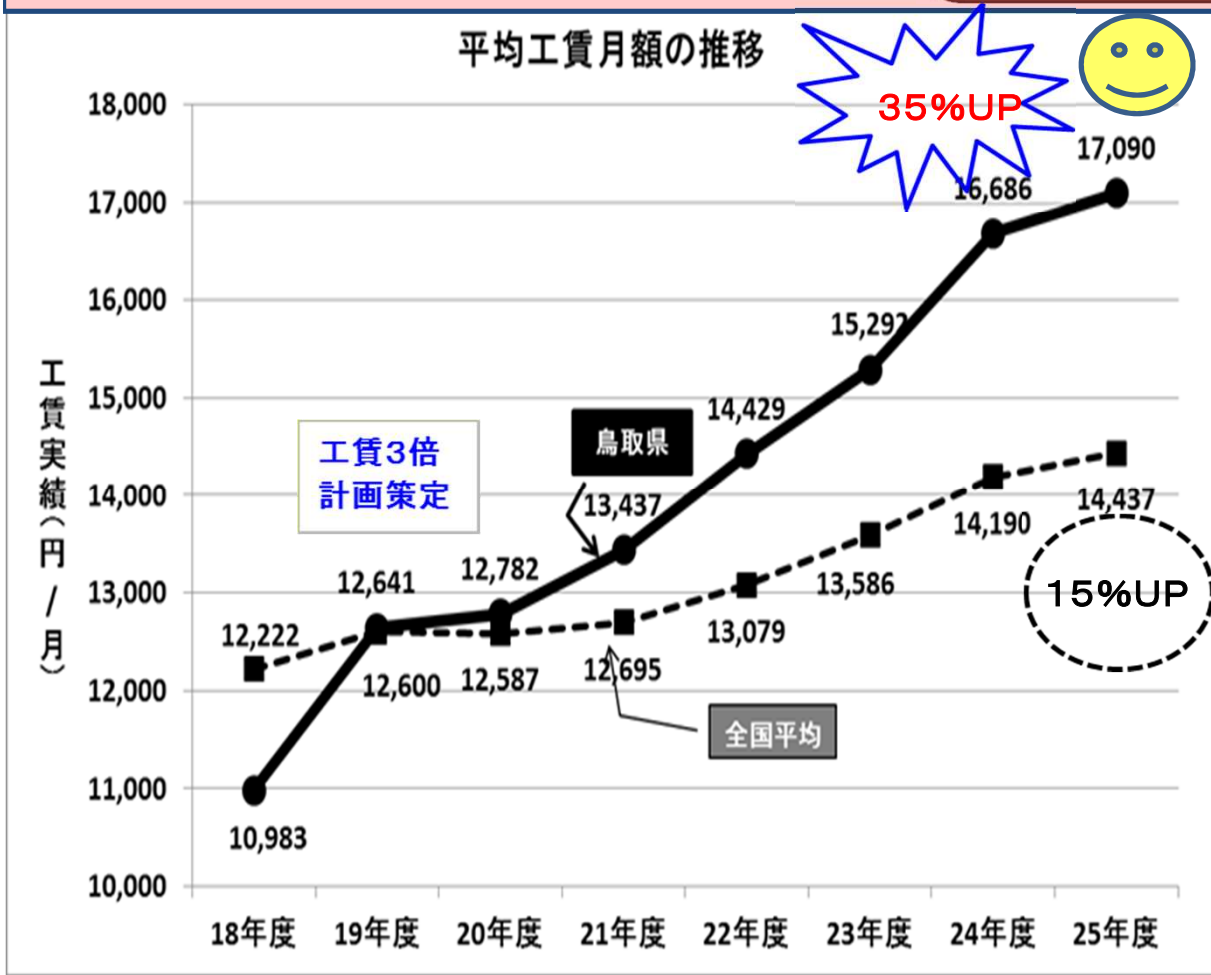
[2015.9.17 日本海新聞]

事業所工賃向上の取組

(商品開発・ギフトビジネス参入支援)

鳥取県では、平成19年度に工賃3倍計画を策定し、工賃水準を平成18年度の月額約11千円から月額33千円以上の3倍とすることを目指し、障がいのある方が地域社会の中で自立した質の高い生活を送ることができるよう支援を行っています。**【県平均の工賃月額は7年連続で、工賃3倍計画策定後35%アップ】**

工賃向上環境強化事業 【継続】29,887千円



★工賃向上の支援を行った人気商品

天女の梨クーヘン
(ぱにーに)

鳥取産「二十世紀梨」のコンポートに、上質の原材料を使用した生地で巻いて、梨の形をしたバームクーヘン



★障がい者就労継続支援事業所商品ギフトカタログ「ハーツ」

商品の認知度や販売力を高めるとともに、ギフトビジネスへの参入などの新たなビジネスチャンスを開拓



農福連携の取組

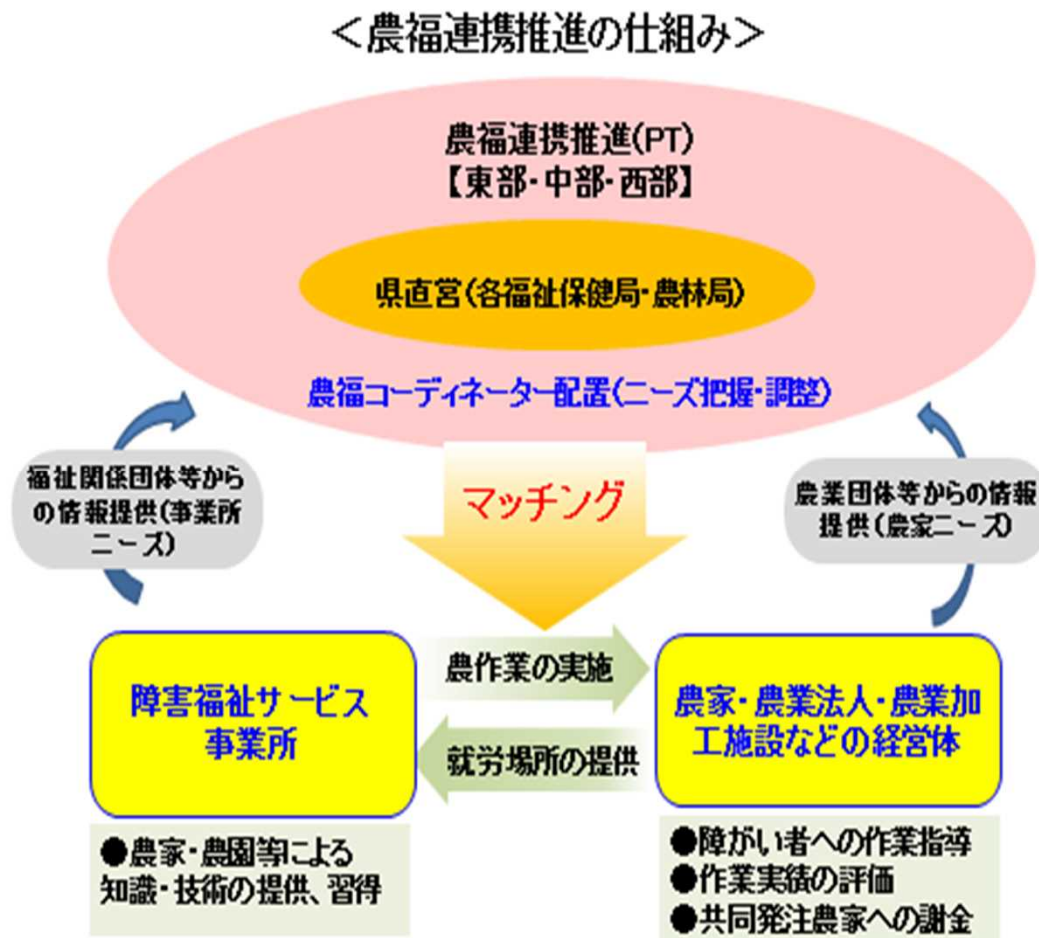
☆農業分野と障害者支援施設をコーディネート☆

農福連携推進事業

【継続】8,538千円

「仕事を求める就労系サービス事業所」と「人手を求める農家」のマッチングを図り、障がい者の工賃向上と農業分野への就労を支援。

■ マッチングの仕組



■ 農福連携の取組例



らっきょうの根切り作業

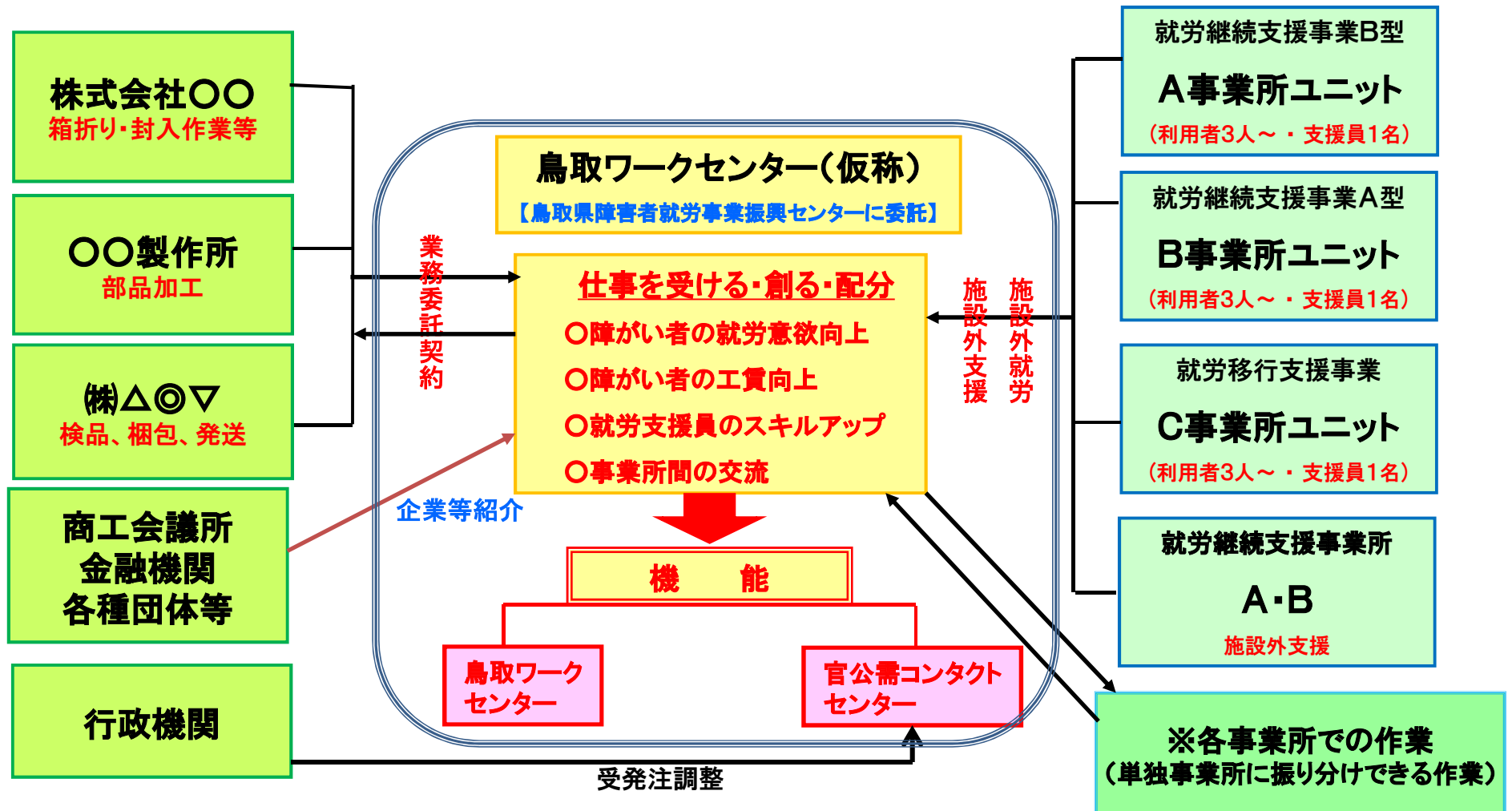


二十世紀梨の袋掛け作業

とっとりモデルの共同受注体制構築事業【6月補正予算額24,886千円】

鳥取ワークセンター(仮称)の設置(全国初)

- 複数の事業所が参加できる共同作業場の設置(単独事業所での受託量では限界がある)
 - 受託作業内容の認知度向上・スムーズな受発注体制の構築(官公需の増加も促進)
- (候補施設:鳥取市商栄町にある元工場(515㎡))



水福連携モデルエリア運営事業【6月補正予算額11,820千円】

全国初！

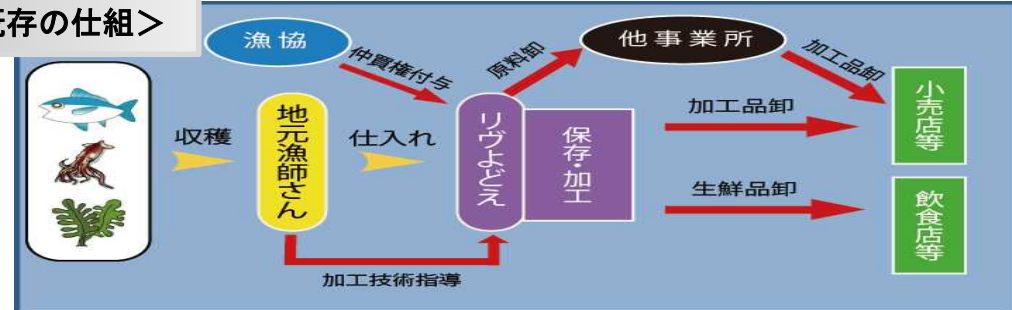
- 御崎漁港（旧中山町地内）内の漁具庫を改修した水産加工品製造のための共同作業場の設置
 - あわせて漁師小屋を改修し共同作業場で働く障がい者のための休憩室を整備
- 上記内容を実施予定のNPO法人ライブを支援（設置補助率3/4、運営補助率1/2）

- 構築されている地元漁師及び地元漁協との連携の発展
- 更なる地元水産資源の有効活用による漁業の活性化
- 複数の事業所が協働することにより製造品量が増加して売上げが向上→工賃向上
（確保された販路（都市部バイヤー、食品企業等）からの発注に製造がおいつかない状況）

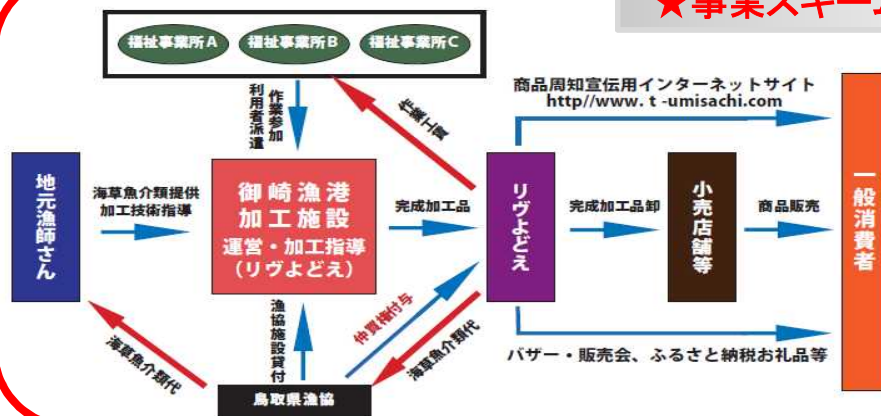
◇経緯

NPO法人ライブ（リヴよどえ）が御崎漁協漁師との交流から仲買権が付与され、地元漁師から魚介海藻類を直接仕入れ、漁師指導の下水産加工品を製造し特に都市部から引き合いの多い人気商品となっている。

<既存の仕組>



★事業スキーム★



加工品例

●乾燥海藻類	●乾燥魚類	●冷凍魚介類
わかめ	しろいかスルメ	しろいか
太もずく	アジ一夜干し	アジ
あおさ	しろいか一夜干し	さわら
岩もずく	はたはた一夜干し	ブリ
あかもく	真鯛一夜干し	たこ
ひらめ		岩かき
ほんだわら		

卸販売予定先例

鳥取岡山新橋館（東京アンテナショップ）
 Jフロントリテイリング㈱（大丸・松坂屋）
 T&N ネット㈱（東証1部企業のネット販売部門）
 ㈱ジェイアール西日本（海外及び国内販売）
 伯耆酪農商事㈱（大山乳業の販売会社）
 スリーエフ（首都圏コンビニ約500店舗展開）
 県内福祉関連販売所（鳥取市役所内等）
 その他飲食店舗等への食材卸

重度心身障がい児者支援事業

重度障がい児者日中支援事業

生活介護事業所、放課後等デイ事業所において、重症心身障がい児者等の日中支援を行う社会福祉法人等に対し、1:1相当の配置に係る人件費から事業者が得る相当の自立支援給付費を引いた差額の助成を行う。(予算額 33,249千円、市町村を通して間接補助)

重度障がい児者短期入所利用支援事業

短期入所事業所において、重症心身障がい児者の短期入所による支援を行う社会福祉法人等に対し、1:1相当の配置に係る人件費から事業者が得る相当の自立支援給付費を引いた差額の助成を行う。(予算額 3,434千円、市町村を通して間接補助)

重度障がい児者グループホーム夜間生活支援員配置事業

グループホームにおいて、重症心身障がい児者等の支援に必要となる生活支援員を独自に配置し支援を行う社会福祉法人等に対し、1:1相当の配置に係る人件費から事業者が得る相当の自立支援給付費を引いた差額の助成を行う。(1施設支援員2名上限。予算額 6,888千円、市町村を通して間接補助)

重度障がい児者利用施設基盤整備事業

生活介護事業所、グループホーム、短期入所事業所、放課後等デイ事業所において、重症心身障がい児者等を受け入れるために必要な施設の整備を行う社会福祉法人等に対して整備に必要な経費の助成を行う。(社会福祉施設等施設整備費補助金への上乗せ補助。予算額9,748千円)

障がい者の芸術・文化振興 (あいサポート・アートインフォメーションセンターの設置)

あいサポート・アートインフォメーションセンターの設置(25,249千円)

障がい者の芸術・文化活動に関する情報発信拠点を新たに設置

常設展示

- 障がい者アート魅力を継続的に発信
- ・障がい者の優れた芸術・文化作品を県中部の施設で常設展示(県内6回、県外6回)
 - ・県東西部で巡回展を開催(年間4回)



くらよしアートミュージアム「無心」

情報発信

障がい者の芸術・文化活動に関する必要な情報を収集し、広く発信



人材育成

権利擁護や障がい者の創作活動の支援方法等に関する研修会等を開催



相談支援

創作活動、出展・発表機会、権利擁護等各種相談を受け付け、助言や関係機関等を紹介



普及啓発

新たな芸術・文化活動との出会いの場として、創作活動を気軽に体験できるワークショップを開催



障がい者の芸術・文化振興

(あいサポート・アートとっとり祭り、あいサポート・アートとっとり展の開催)

「あいサポート・アートとっとり祭り」「あいサポート・アートとっとり展」 の開催(39,661千円)

障がい者が取り組む「舞台芸術活動」と「芸術・文化作品制作活動」の
発表と鑑賞の機会として開催

あいサポート・アートとっとり祭り (鳥取県障がい者舞台芸術祭)

開催日 平成27年10月3日(土)~4日(日)
場 所 とりぎん文化会館
内 容 音楽、演劇、ダンス等の発表
その他 福祉の店の販売、体験コーナー、講演
会、障がい者アート展示等を同時開催



あいサポート・アートとっとり展 (鳥取県障がい者芸術・文化作品展)

会 期 平成27年12月6日(日)~17日(木)
場 所 米子市美術館
巡回展 中部地区、東部地区で巡回展を開催
部 門 美術部門、文芸部門、マンガ部門



障がい者の芸術・文化振興

(障がい者の芸術・文化活動の全国発信)

あいサポート・アートとっとりフェスタで行った象徴的な取組を全国に発信(14,843千円)

<内容>

- ・じゆう劇場の県外公演
- ・荒神神楽の県外公演

<公演場所>

- 例示 ・アメニティフォーラム(滋賀県)
- ・全国障がい者芸術・文化祭(鹿児島県) など



2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた全国的な障がい者の芸術文化振興を有志の都道府県と連携して実施(500千円)

<有志の都道府県知事と障がい者アートの推進を発表>

- 例示 ・鳥取県・・・障がい者舞台芸術祭
- ・滋賀県・・・アール・ブリュット



全国に誇れる障がい者の舞台芸術のメッカを目指す

障がいのある人たち等による劇団「じゅう劇場」

今年の演劇は、
『「ロミオとジュリエット」から生まれたもの』

戯曲『ロミオとジュリエット』をもとに、障がいのある劇団員が、場面に合わせて台詞と動きを自ら考え、「じゅう」な発想で即興劇を創りあげていくという、今までに無い新たな舞台を演じた



劇団員自身の恋愛話や、ジュリエットの気持ちで歌を披露したり、自分で作ったロミジュリのお話を発表するなど、様々な場面を演じた

「じゅう劇場」とは、平成25年8月に立ち上がった障がいのある人とない人で創られた劇団

障がいのあるなしに関わらず、「演じる」という行為を通して、表現することの楽しさを実感し、ともに作品を作り上げる達成感を得る

一生懸命何かを作るために障がいの有無は関係ない

見るものに感動と驚嘆を与えるこの舞台は、全国、そして世界へと羽ばたいていく

＜昨年の演劇＞



昨年は、秋篠宮紀子様、佳子様御臨席のもと、2時間もの大作、チャーホフ作「三人姉妹」を見事に演じきった19